

## JGA WAGスクールが第14回「健康寿命をのぼそう!アワード」 スポーツ庁長官優秀賞を受賞

### 中島和也・ゴルフと健康部会長に聞く

日本ゴルフ協会(JGA)ゴルフ振興推進本部「ゴルフと健康部会」が取り組む「ゴルフで健康寿命をのぼそう! JGA WAGスクール」が、厚生労働省(スマート・ライフ・プロジェクト)並びにスポーツ庁が主催する「第14回健康寿命をのぼそう!アワード」(生活習慣病予防分野)のスポーツ庁長官優秀賞を受賞し、昨年11月25日に都内で開催された表彰式で、ゴルフと健康部会・中島和也部会長が表彰状を授与された。WAGスクールのどのような点が評価されたのか、またゴルフと健康部会の今後の展望などを、中島部会長に聞いた。

#### 「第14回 健康寿命をのぼそう!アワード」表彰式

主催:厚生労働省・スポーツ庁



表彰状を授与されたゴルフと健康部会・中島和也部会長(右)

「健康寿命をのぼそう!アワード」はスマート・ライフ・プロジェクトに参加している団体の中から特に優秀な取組事例を表彰するイベント



#### KGAの活動を引き継いだ WAGスクールで高齢者の健康増進・ 生活習慣病予防を全国に広める

WAGは関東ゴルフ連盟(KGA)などが2016年に立ち上げた、認知症予防におけるゴルフの効果を研究するための「ウィズ・エイジング・ゴルフ協議会」の略称。国立長寿医療センター、東京大学、杏林大学との共同研究によってゴルフが記憶力の改善に効果があることが実証されると「WAGスクール」を立ち上げ、高齢のゴルフ初心者、未経験者を中心にゴルフを楽しみながら健康維持、増進を図る活動を、各ゴルフ場、練習場の協力のもとに進めた。

この活動は現在、JGAが「JGA WAGスクール」として引き継ぎ、ゴルフの技術向上だけではなく、運動習慣の促進やコミュニティ形成に重点を置いたプログラムを全国規模で実施。2025年度からは産学官連携による「JGA WAGスクール」を活用したゴルフの健康および認知機能への影響に関する研究にも着手した。今回のアワード受賞は、これらの取り組みが健康増進・生活習慣病予防に貢献するものとして評価された。



各地で実施されているJGA WAGスクール

中島和也・JGAゴルフ振興推進本部ゴルフと健康部会長「WAGスクールはKGAの活動をJGAが引き継ぐ形で、各地区連盟・関連団体の皆さんとスクールを全国に広げ、より多くの人に健康に寄与するんだ、していきたいんだと強い思いを込めて続けています。それがこのように評価されたことは凄く意義があるし、その思いは各地区連盟・関連団体の皆さんも同じだと思います」

今回の受賞により、今後はJGAゴルフ応援サイト上で受賞ロゴマークを掲示することが出来るほか、厚生労働省関係の媒体・イベントなどで「ゴルフと健康部会」の取り組みも紹介されるようになる。WAGスクールにとって、今後の活動に向けて大きな推進力になる。

中島部会長「今回の受賞が、これまで続けてきた活動を推し進める上で大きなステップになると感じています。アワード受賞は、私たちの活動が厚生労働省、スポーツ庁の方々に認めていただき、認知されたことだと思います。活動を広げていくためには、そういった官庁の後押しが非常に大きな力になります」

#### 「ゴルフは生涯スポーツとして気軽に始められるし、プレーできるということをもっと広めていきたい」

「JGA WAGスクール」は毎年9月の日本シニアオープンに合わせて1週間を「ゴルフ健康習慣」と位置付け、1日体験版である「1Dayプログラム」を、全国のゴルフ施設と連携して実施している。2025年からは気候が良く屋外スポーツに適した5月を「ゴルフ月間」として新たに設定し、この期間にも1Dayプログラムの実施を奨励するなど、活動の幅を広げている。

中島部会長「JGA並びに各地区連盟にとって、ゴルフの振興は使命です。そのために女性にもゴルフを



安全にゴルフを楽しむため、入念に身体をほぐす参加者



ゴルフの知識と理解を深めるための座学の時間

基礎から実践まで、安心して取り組めるパッティング指導

もっと経験して人生を楽しんでもらおうという活動があるし、地方の過疎化が懸念される中で地方を盛り上げていく地域社会への貢献にも取り組んでいる。ゴルフを通じて健康の維持、増進、認知症予防などに取り組む活動も、その一つです。今後もJGAにとってゴルフ振興は柱になっていくと思うので、ゴルフと健康部会もその一翼を担っていく使命感をもって活動の幅を広げています」

内閣府によると、2024年10月1日現在の日本の65歳以上人口は3624万人で、総人口の29.3%を占める。さらに11年後の37年にはこれが33.3%となり、国民の3人に1人が65歳以上になると推測されている。そのような超高齢社会を迎えている中で、「ゴルフと健康部会」が担う役割は一層増していくと思われる。

中島部会長「私たちが今後目指すのは、ゴルフは生涯スポーツとして気軽に始められるし、プレーできるということをもっと広めていくことだと思います。日本ではまだ根強く残る一部富裕層のスポーツという認識をなくすための取り組みを通じて、多くの人にゴルフを楽しんでもらうようにしなければならない。それによって健康寿命の延伸にもつながるし、ゆくゆくは医療費の削減などにも貢献することができます。ゴルフというスポーツが一人一人の生活にどれだけ力になるのか、人生をどれほど豊かにするのか、幸せを感じる事ができるのか、そのようなことを、これからも広げていきたいと思っています」(情報シェアリング部会委員・鈴木暹理)